中部地方整備局 浜松河川国道事務所

8月27日(土)、菊川市中央公民館に於いて「菊川から学ぶ 集い」を開催しました。このイベントは、菊川水系での度重なる洪水被害から地域住民の皆様の命と財産を守るため、菊川水系下小笠川に捷水路を設置し、その改修工事から10年が経過したことを記念して企画されたものです。

当日は常葉大学社会環境学部の山田辰美教授による講演が行われ 約150名の聴講者が熱心に聞き入っていました。また、菊川の歴史や 下小笠川捷水路が学べるパネル展示、お子様に大好評だった「豪雨体 験」や「排水ポンプ車、照明車の展示」が行われました。



下小笠川捷水路改修は、下小笠川の下流部での大きな蛇行と天井川を解消し、出水による被害を軽減するために実施された事業です。



10周年記念イベント チラシ



「菊川の自然と共生し、行政に頼るだけでなく 地域住民みんなで川を守ってもらいたい」と熱 く語る山田教授



主催者挨拶をする尾藤浜松河川国道事務所長



熱心に聞き入る聴講者

中部地方整備局 浜

浜松河川国道事務所

パネル展示







講演会場入口でのパネル展示

降雨体験







降雨体験車で時間雨量120mmの雨に当たり、 「実際に何時間も降られたらと思うとゾッとす る」と体験者

災害対策車両展示







会場の外では、排水ポンプ車と照明車の展示 が行われました